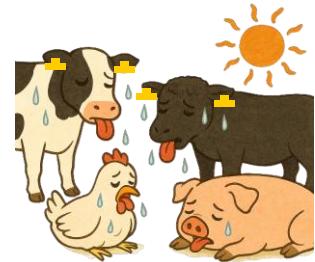


畜産・酪農の暑熱対策

✓ 近年、夏場の猛暑が常態化し、畜産・酪農への影響が深刻化しています！

○暑熱による影響の例

- ・ 食欲不振
- ・ 乳量の低下
- ・ 家畜の死亡
- ・ 受胎率の低下
- ・ 乳用牛の分娩間隔のズレ



ポイント1

暑熱対策を支援します！

予算増額 畜産クラスター事業 (R7補正)



省エネ型の送風機や細霧機等の導入、断熱性能の追加などの畜舎の補改修を支援します！

対象資材
拡充

肉用牛経営安定対策補完事業 (alic事業)



肉用牛繁殖経営において、遮熱塗料や断熱材等の購入を支援します！

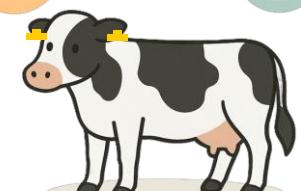
新規

生乳暑熱対応推進緊急対策 (R7補正)

人工授精



受精卵移植



酪農経営において、断熱材等の資機材導入や、夏季における人工授精から受精卵移植（和牛受精卵を除く）への転換を支援します！

ポイント2

夏前から準備しましょう！

▶ 家畜の体感温度や畜舎温度を下げる主な取組

- ・ 換気扇や扇風機による送風や散水・散霧の実施
- ・ 日よけ、屋根裏・壁等への断熱材の設置



(暑熱対策の基本)

夏が本格化する前から、暑熱対策の事前の備えが重要です！